水を仕事にする魅力、やりがい

巨大事業にやりがい感じ

月島JFEアクアソリューション
技術本部下水道事業部
熱プラント設計部熱エンジ1グループ
長谷川　海地さん

■汚泥処理で業界トップ

機械工学を専攻していたこともあり、プラントエンジニアリングに絞り業界研究を進めていました。石油・化学をはじめさまざまな選択肢がありましたが、民需のみならず水インフラ分野という官需の選択肢を持つことのできる当社が魅力的に映りました。2023年の事業統合により、現在は水エンジニアリングに特化した事業形態へと進化しています。

当社は下水処理場プラントのEPC事業の中でも汚泥処理が強みです。脱炭素社会実現への関心が高まる事業環境において、創エネルギー型焼却や汚泥の燃料化、乾燥など自治体ニーズに合わせ省エネ・創エネや資源利用に関するさまざまなプラントを提案することができる総合力は業界トップクラスです。グループ会社と連携して官民連携事業も手掛けています。

■壮大なスケールの仕事

入社から2年間は研修としてプラント建設現場で施工管理のいろはを学び、その後に設計部署に配属となりました。現在の主な業務は下水処理場に納める プラントの基本仕様が固まった次の段階として、機器や配管の最適な配置の検討を行い、最終的に建設を行うための施工図を作成する仕事です。詳細設計を行うに当たっては、3Dモデルによるデジタルツインが標準化されているためデスクワークが中心ですが、設計の初期段階に現地調査として既存設備の3Dスキャンを行ったり、実際に工事が始まってからも週に1度は現場を訪れ施工担当者にヒアリングし、設備の改善に取り組んでいます。また作る側の意見だけでなく、運転管理を行っているグループ会社とも協力して完成後の維持管理性も考慮した設計を心掛けています。一つひとつの案件の建設工事の始まりから終わりまで複数年単位でじっくりと向き合う仕事になります。大がかりなものでは数十～百億円規模とスケール感がある分、やりがいは大きなものです。

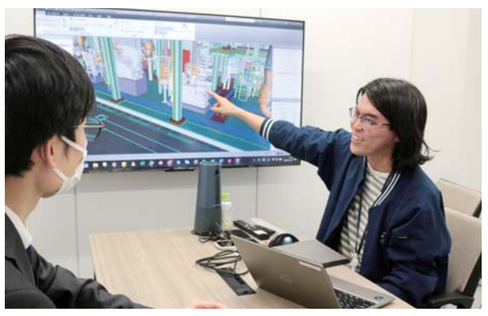
2年前から担当している汚泥燃料化プラントがまさに試運転の段階を迎えています。「手掛けた仕事がここまで来たか」という瞬間が、何よりの喜びです。来年3月の竣工が待ち遠しいですね。

■安心して働ける環境

社員それぞれが案件を担当しますが、決して任せきりではなく、部署全体で若手社員をサポートしてくれる体制が整っており、分からないことがあれば尋ねやすく、安心して大きな仕事にも取り組めます。

ワークライフバランスの意識が会社全体に浸透しており、有休奨励や育児休暇制度など福利厚生にも力を入れています。

社会貢献性、業界内での優位性、働く環境の充実、全て満足いく会社だと思います。



信頼を受け継ぎ関係深化へ

大成機工
東京支店
本間　友就さん

■社会に貢献できる仕事

大成機工は、水道や下水道、ガスなどインフラの「管路」を対象にした製品の製造・販売、そして水を止めることなく施工を行える不断水工法などの関連工法の施工を行うメーカーです。

私自身は、大学で社会学を専攻し、メディア系のゼミに所属して幅広い分野を学んできました。就職活動では「人の役に立つ分野の仕事は何か」を軸に企業を探し、中でも人々の生活に必要不可欠な〝水〟という存在に強く惹かれました。当社を選んだ決め手は、創業から80年以上の長い歴史と、高い技術力に裏打ちされた製品が、日常生活の中で多くの人の安全・安心に貢献している点、また供給する製品・工法が業界内でも高い信頼性を誇っている点に魅力を感じたからです。

入社後は東京支店の営業部に配属され、今年で6年目になります。主に埼玉県内を担当しており、官公庁や商社を相手に不断水工法に関連した製品をメインに提案を行っています。

■喜んでもらえるような仕事を目指して

営業の仕事の幅は広く、新製品のPRや情報収集、さらには施設の設計に悩んでいるお客さまに提案などを行うこともあり、高い専門性が求められます。工事を円滑に進めるため、発注者である官公庁、実際に製品を納入する商社、現場での施工を担当する工事業者間の調整を行うこともあります。

1年目から担当を持つため、自分だけでは不安な部分もありましたが、いわゆる報・連・相をしっかりとしながら、上司や技術部門のサポートも受け、お客さまに喜んでいただけるような提案ができるよう心掛けてきました。

特に日々の対応の丁寧さや迅速さがお客さまからの信頼につながります。まずは「顔を覚えていただくこと」から始まり、継続的なコミュニケーションを通じて、担当として信頼していただける関係づくりを心掛けています。当社はルート営業が中心で、先輩方が築いてきた信頼のバトンを引き継ぎながら、お客さまとの関係性を深めていきたいと考えています。

■休暇の活用でメリハリを大事に

当社では有給休暇のほかアニバーサリー休暇、ライフサポート休暇といった制度があります。年間休日も128日間と多く、仕事とプライベートをしっかり切り替えられる環境があるため、メリハリをつけて働ける会社です。ほかにも独身寮や家賃補助など福利厚生が充実しており、働きやすい制度が整っています。

就職活動中は不安も多く、将来への迷いを抱える方も多いと思います。しかし、社会人になると辛いことだけでなく、楽しい経験もたくさんあります。あまり気負わずに就職活動を頑張っていただきたいと思います。そして入社後に悩むことがあっても、一人で抱え込まず、周りを頼りながら一緒に解決していきましょう。

水質への関心 仕事に生かして

月島ジェイテクノメンテサービス
維持管理本部　西日本維持管理部
維持管理第二課
川本　大貴さん

■水資源を守りたい

大学では環境工学科で環境問題について幅広く学び、特に海水中の窒素除去技術の開発について研究していました。山口県出身で、幼少期から海で遊ぶことが多く、その頃から海が汚いことが気になっていました。そうした経験からもともと水質に関心があり、「水資源を守りたい」との思いで当社を志望し、今年で入社2年目になります。

3回生の後期から就職活動を始め、当社のインターンシップに参加し、自分の性格がメンテナンスの仕事では長所になるのではないかと思い入社を決めました。また、当社に在籍している大学OBがいたため、相談しやすい環境が整っていたことも大きな支えになりました。

■安全な水を届ける仕事

入社後は配属先でのOJT教育を含め3カ月間の研修を経て、実業務につきました。配属される浄水場の特性に合わせた教育内容で、浄水場ごとに水質などの特徴が異なることがとても印象に残っています。

現在、日中は浄水場の運転管理・保守管理業務、夜間は複数の浄水場等の監視業務や異常時対応をシフト制で担当しています。日中は主に浄水場でつくられた水の水質管理を、夜間は主に複数の浄水場からの送水を各配水先へ分配する水量などのコントロールを行っています。

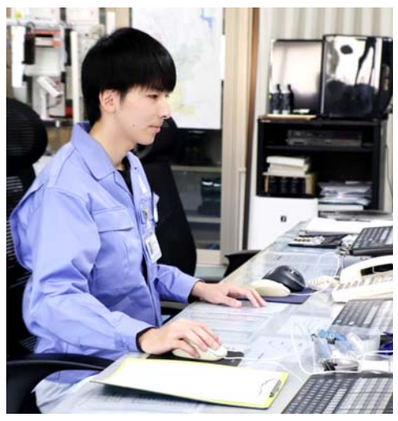
日中と夜間で仕事の内容が異なるため、最初は不安がありましたが、先輩の指導を受けて細かくメモを取りながら業務を行っていくうちに、自分たちの仕事が市民の皆さんに安全な水を届けることに直接つながっているのだと強く意識するようになりました。そこが非常に責任重大でもあり、やりがいにもなっています。

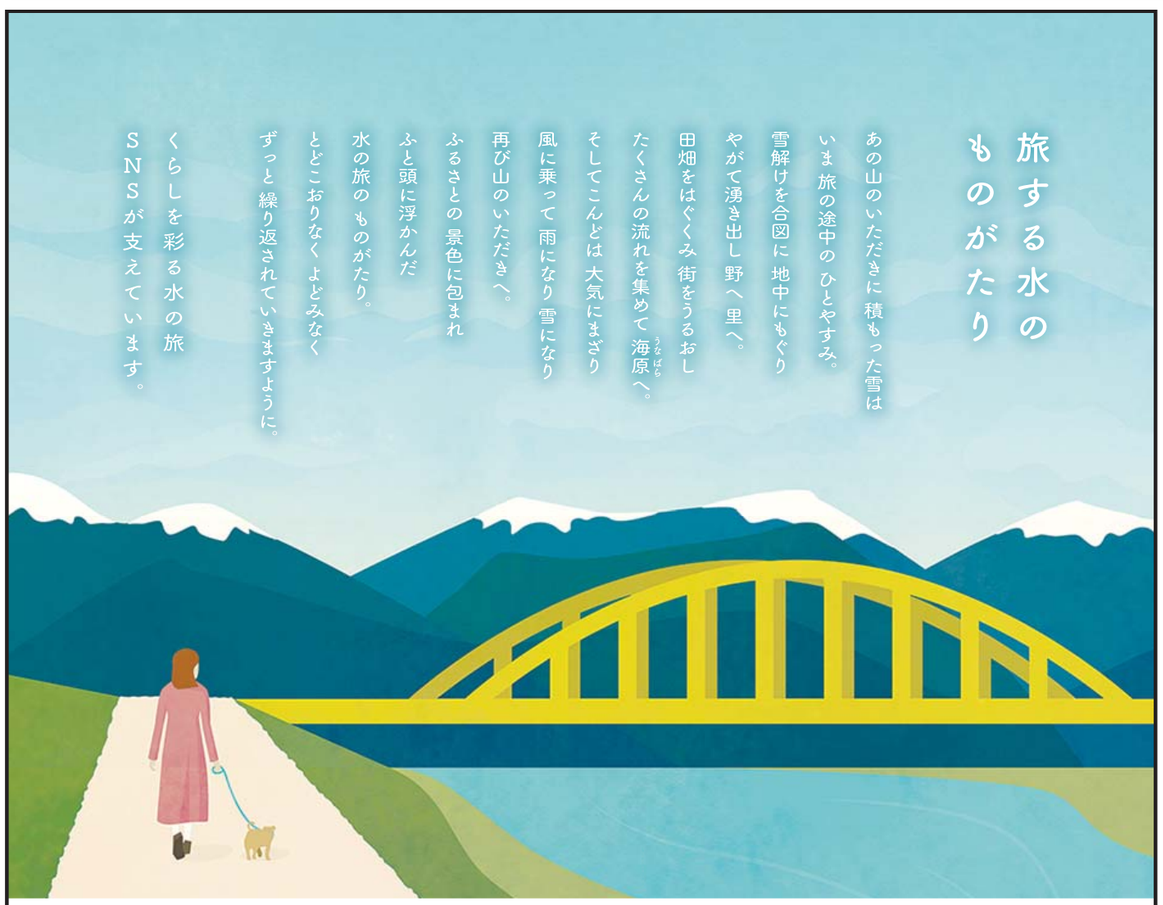
■プライベートと仕事を両立

当社は有給が取りやすい環境であると感じています。また、現在一人暮らしですが家賃補助を受けており、収入や生活に余裕ができプライベートと仕事を両立していると実感します。

また、資格取得のための社内のWEB勉強会などサポート体制が整っています。私自身もサポートを活用して新たな資格取得に向けて勉強を始めているところです。

就職活動の期間は不安感が強く「本当に就職できるのだろうか」と思っていた時期がありました。私自身、面接では緊張で頭が真っ白になりがちだったこともあり、事前に何回も練習して乗り切った記憶があります。どうしても不安な時には先輩に話を聞いてみるのもいいのではないでしょうか。水インフラに携わる仕事に興味がある方は、ぜひ一度当社のインターンシップに参加してみてください。





SNS 新日本設計株式会社
本社：〒380-0917 長野県長野市稲葉 2561　TEL 026-266-9600
支社／事務所：●東北支社 ●盛岡 ●秋田 ●仙台 ●山形 ●関東 ●新潟 ●名古屋
https://www.sns.co.jp/
代表取締役社長 吉澤 隆美
公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会会員

テイシー
経営理念：社会・環境に貢献し、働きがいのある魅力あふれる企業を持続する
Tec Group
株式会社
東京設計事務所
千代田区霞が関3-7-1
代表取締役会長 亀田　宏
代表取締役社長 狩谷　薫